

氏名	岡 林 孝 弘		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1841 号		
学位授与の日付	昭和62年9月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	胃癌所属リンパ節の免疫組織化学的研究		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 赤木忠厚	教授 木村郁郎

学位論文内容の要旨

胃癌所属リンパ節における免疫担当細胞サブセットの分布動態を検索し、担癌所属リンパ節の免疫学的抗腫瘍能を解析するため、リンパ節の凍結切片に対して免疫組織化学的染色を行った。すなわち、OK シリーズおよび Leu シリーズの諸種モノクローナル抗体を用いて、ABC 法および組織二重蛍光抗体法を施行し、リンパ球サブセットの分布様式やその変化、あるいはより機能的なT細胞サブセットについて検討した。

転移陰性リンパ節での分布様式は、対照のリンパ節に比較して類似しており、T細胞・B細胞およびNK細胞などに対応する各モノクローナル抗体陽性細胞は一定の分布を示した。

転移陽性リンパ節では、OKT 4⁺ 細胞の減少と OKT 8⁺ 細胞の増加がみられた。

二重蛍光染色法により、OKT 4⁺ 細胞の約 $\frac{1}{2}$ が helper T 細胞であり、OKT 8⁺ 細胞の多くは cytotoxic T 細胞またはその precursor であることが判明した。

所属リンパ節の抗腫瘍能を賦活するために、免疫賦活剤 OK-432 あるいは PSK を術前腫瘍内投与することにより、所属リンパ節では、IL-2 レセプター⁺ 細胞、OKM1⁺ 細胞、OKT 4⁺ 細胞などの増加が認められた。癌の手術で残存する遠位のリンパ節を賦活する方法として、有用性が示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究は、手術を施行された胃癌所属リンパ節における免疫担当サブセットの分布動態を検索し、担癌所属リンパ節の免疫学的抗腫瘍能を解析するため免疫組織化学的に検討した結果重大な知見を得たものであって、胃癌手術治療に関して価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。